

無線通信技術産業 イノベーションセミナー

- 主 催：社会システム事業委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約100名

概 要

無線通信技術が高度に進歩・発展しつつあることで、社会インフラはもとより、様々な産業分野において極めて顕著なイノベーションが進み、クラウドやM2M (Machine to Machine) など、新たな市場の創出にも大きく寄与するようになってきております。

当協会の「社会システム事業委員会」では、こうした無線通信システム関係への取り組みを行っておりますが、平成24年度からは「無線通信システム研究会」を発足させ、最新の技術動向を把握しつつ、自動車関連や医療ヘルスケア関連など他の産業分野の組織とも連携・協力するなどして、様々な調査・研究を行っていきたいと考えております。

今般、その取り組みの第一歩として、各分野の第一線で活躍中の専門家の方々のご協力を得ましてセミナーを開催いたしました。

講演は、4セッション行われ、電気自動車 (EV) 専用情

報通信の講演では、EV固有のニーズへの対応や多様性の紹介、また、蓄電池特性を生かしたスマート社会への提案などが述べられました。

医療ヘルスケア分野の講演では、情報通信技術の医療・ヘルスケアへの対応や医療情報システム関連の国際標準化の対応、さらには、医療で使うために無線通信技術はまだやるべき研究開発が多くあるなどの期待が述べられました。

M2M通信技術の動向の講演では、M2Mの広がりやそれらを支える技術、さらには、新たな無線技術として60GHz帯超高速近距離無線を利用したユースケースとコンテンツ流通への期待が述べられました。

クラウド時代における無線通信ネットワークの講演では、急増するトラフィックへの研究課題とその課題解決への具体策についてご説明いただきました。



プログラム

○電気自動車（EV）専用情報通信システムについて

下松龍太 氏

（日産自動車（株）電子技術開発本部 IT&ITS開発部 IT／テレマティックス先行開発グループ主担）

○医療ヘルスケア分野における無線通信技術に関する動向と課題について

原 晋介 氏

（大阪市立大学 大学院工学研究科 電子情報系専攻 教授／工学博士）

○M2M（Machine to Machine）通信技術の動向と今後の課題について

高橋和晃 氏

（パナソニック（株）東京R&Dセンター 通信コアデバイス開発センター 主幹技師／工学博士）

○クラウド時代の無線通信ネットワーク分野における研究課題と展望について

濱辺孝二郎 氏

（日本電気（株）システムプラットフォーム研究所 研究部長）